

要約 HBC200802 マルコ 8 章 22-26 節、9 章 1 節「目が見えるようになる。」

1. ベツサイダの出来事 — イエス様の奇跡とのつながり

ベツサイダは、「漁師の家」という意味のアラム語を音訳した地名で、6 章 45 節にもある。ベツサイダは、マタイとルカの福音書では、イエス様が町の人々の不信仰を嘆いている町（マタ 11 : 21, ルカ 10 : 13）。

「まだ悟らないのですか。」というイエス様の言葉の後の奇跡。イエス様の弟子への思い。

2. 目の見えない人の癒し

① 耳の聞こえない人の癒しの出来事と似ている部分が多くある。

i 人目を避けたこと。 ii つばきを用いたこと。 iii 触れていること。 iv 「誰にも言うてはならない」

② この癒しの特殊さは、 i) 癒しの途中で質問。 ii) 癒しの経過が詳細。 iii) 二度手を当てた。

③ 2 段階で癒された。 この目の見えない人は、恐らく中途失明の可能性。

イエス様はこの人を慈しまれました。言葉と触れ合いが、目だけではなくその人の心を癒した。

人々は「目を直して下さい」ではなく「彼にさわって下さい」と言っている（6 章 56 節）。

3. イエス様の力が示されたこと

イエス様の目に見えない人への慈しみと癒しのわざを見た。「まだ悟らないのですか」とイエス様の言葉からイザヤ書（42:18-20）の言葉を弟子たちは思いだした。しかし、主のしもべの悟らない現実があるが、希望としてみことばの成就（詩篇 146:8-9）がある。

イエス様の弟子たちへの言葉、そして癒しの出来事を弟子たちの前で行うことを通して、目が開かれ、耳が聞こえるようになって少しずつ理解が進んでいく。イエス様が十字架に向かっている時、イエス様が誰であるのか、十字架の意味は何なのかを弟子たちに悟らせようとしていた。

4. 9:1 は意味深な言葉、「神の国が力をもって到来」すること、そしてそれを見るまでは死を味わわない人たちがいる。神の国が世を支配する力をもって到来することを信仰で「見る」者、もしかしたら幻で「見る」者がいることを示す。その神の国は、キリストを信じる者の国である。

結語

本日の内容から教えられる一つ目のことは、日頃から、目の見えなかった人も、耳が聞こえなかった人も、人々に助けられていたことが分かります。このように聖書を読んでいると、人々が、中風の人、耳が聞こえない人、目の見えぬ人と共に住み、助けていたことが分かります。

二つ目のことは、「見えるようになる」こと、真実が見える事です。その真実とは「神の国」です。

最期に、二段階で見えるようになっていることから、こう考えられます。「彼がじっと見ていると、目がすっかり治り、すべてのものがはっきりと見えるようになった」。じっと見る、ことが私たちに求められているように思いました。

私たちの信仰の目標はイエス様です。天の御国までの日々は、イエス様を見続けて、じっと見続けて、イエス様が神であることが、徐々にはっきりと見えていく歩みです。見えて分かるのは、神の力と私が神から愛されていることです。同時にまだぼんやりとしかイエス様が見えていない人々を助けるものでありたいです。イエス様を必要としている人々をイエス様の所へお連れできるよう祈りましょう。